

平成 30 年度 環境行動計画

1. 環境保全活動への取組みについての現状把握と課題

(「グリーン経営推進チェックリスト」に基づく現状把握と今後の課題)

(1) 環境保全のための仕組み・体制の整備

環境方針(基本理念)を制定し、掲示にて全従業員に周知を図る。

また、環境保全組織を制定し、従業員全体で役割を担うよう、会社全体活動とする。ただし今後の環境保全組織については、随時仕事の状況に合わせて、役割を見直すことが必要。

(2) エコドライブの実施

走行管理表の記入により、各車両ごと給油時の燃費を確実に管理把握する。

またそのデーターをシステム管理することにより、常に過去の状況も把握できるよう管理する。

ただし、今後の課題は走行管理表の記入の徹底を図る必要もある。

(3) 低公害車の導入

増車時、又は車両代替時には、低公害車の基準を満たす車両を重視する。

(4) 自動車の点検・整備

認証基準項目につき点検整備基準を定め実施しており、点検整備に関するドライバー教育も適宜行っている。今後は、適宜、点検整備基準の見直しを行わない、より合理的、効率的な点検整備に努め、環境への影響及び無駄な経費の削減に取り組んでいく。

(5) 廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進

廃棄物処理は不法投棄に繋がらないよう適切な業者に委託し実施している。従業員への廃棄物に関する教育も実施している。この取り組みを今後も続けていく。

(6) 管理部門（事務所）における環境保全の推進

管理部門従業員に対する事務所での環境保全の教育は現業従業員とともに実施し、廃棄物の分別、不要照明の消灯などできるものから取り組んでいる。今後はさらに空調管理やコピー用紙などの無駄な使用を減らすよう努力が必要。

2. 目標

(1) 環境教育の推進：適宜、環境問題に関する情報を従業員へ提供する。

燃費向上：対前年比 5%改善（事業所平均燃費：5.9 km/ℓ）。

(3) 事務所での環境保全の推進：廃棄物量の削減、電気使用量の削減、グリーン購入の推進。

3. 目標達成に向けた具体的な取組み内容

(1) 「環境教育の推進」に向けた具体的取組み

資料掲示やグリーン経営ニュースなどを通じて、環境（環境の現状、問題、将来的な危惧など）やグリーン経営に関する参考情報、毎月の燃費実績等について、継続的に提示を行い従業員の環境意識の啓発を図る。

(2) 「燃費向上 対前年比 5%改善」に向けた具体的取組み

・ 月次燃費実績の公表、個別指導の実施。

毎月各ドライバーの燃費実績一覧表を掲示し、ドライバーの燃費向上意識の高揚に努める。また、運行情報システムを活用し、日報の評価点を掲示し、上位者の表彰制度を取り入れ、安全や省燃費に対する意識の高揚に努める。

・ エコドライブ（特にアイドリングストップ）の徹底。

点呼場や休憩室に常時エコドライブやアイドリングストップに関するポスターや教育用資料を掲示などし、ドライバーのエコドライブ意識の向上を図る。また、待機時などのアイドリングストップ推進のため、アイドリングストップ支援機器（キー抜きロープ、エアヒーター等）の導入にできるだけ努める。

・ 外部のエコドライブ講習会受講を進める。

燃費目標未達成者から順次、外部のエコドライブ講習会を受講させていく。

(3) 「事務所での環境保全の推進」に向けた具体的取組み

コピー紙の裏面利用を進め、ゴミの分別を徹底しペットボトルやアルミ缶などのリサイクルを進める。昼休みや休憩時間には事務所の消灯及び業務中でも窓際など不要な照明の消灯に努める。エコラベルの付いた事務用品などの導入に努める。

作成日：平成 30 年 4 月 1 日

会社名：株式会社マホリ

事業所名：本社営業所

環境保全管理責任者：

代表取締役 和田 正二